

講義名	基礎技能B（社会科学）（6303）		
科目区分	教養基礎		
担当教員	関 陽		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 4時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
備考			

主題と概要
公務員試験における教養科目の一般知識分野である社会科学の基礎から無駄なく実戦レベルまでレベルアップすることを目標とする。社会科学における法学分野・政治分野・経済分野・社会分野の4分野に関する頻出論点を確認し、近年の公務員試験の傾向を把握する。また、公務員の職種や試験制度、今後の学習方法について学ぶ。

到達目標
公務員試験で出題される社会科学の基礎知識を「正確」に理解し、それらが現実の政治・経済の仕組みの土台になっていることを学ぶ。また公務員試験での出題傾向を把握し、今後の学習基礎を築き上げる。

提出課題
毎授業時に提出課題あり。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
課題提出後、講評・解説を行う。

評価の基準
授業内テスト、提出課題を合わせて評価する。

履修にあたっての注意・助言他
試験期間に試験は行わず、成績は授業期間内で全て評価される。毎回出席すること。受講態度が悪い場合には、減点する。事前課題有り。

教科書
大卒程度 警察官・消防官 新スーパー過去問ゼミ 社会科学 [改訂第2 資格試験研究会 編 実務教育出版 1,430円 978478935334版] .

プリント資料及び参考文献
必要に応じて資料を適宜配布する。

授業計画
第1回 法学分野1：法の基礎理論、憲法・公務員ガイダンス 第2回 法学分野2：基本的人権 第3回 法学分野3：国会、内閣、裁判所 第4回 法学分野4：各法律の基本問題 第5回 政治分野1：政治の基礎 第6回 政治分野2：政治制度 第7回 政治分野3：選挙 第8回 政治分野4：政治史・地方自治・国際政治 第9回 経済分野1：ミクロ経済学 第10回 経済分野2：マクロ経済学 第11回 経済分野3：財政政策・租税制度 第12回 経済分野4：経済史・経済事情 第13回 経済分野5：世界経済事情 第14回 社会分野1：社会の発展と現代社会 第15回 社会分野2：現代社会

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
予習：それぞれの回の実施内容（全体把握）を30分程度予習すること。 復習：講義内で実施した範囲の問題演習を繰り返し、3回以上は解くこと。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
小テスト(5問)を第3回、6回、9回、12回、15回に実施する。